

宮城県日越交流協会がベトナム北西部ソンラ省に 桜1,000本を贈呈、植樹式開催

9月10日、宮城県日越交流協会（会長 鎌田 厚司 氏）がベトナム北西部ソンラ省へ桜の木1,000本を贈呈し、植樹式が開催されました。今回の桜の贈呈は2023年に迎える日本とベトナムの国交50周年を記念したもので、植樹式には多数の日越関係者が参加し盛大に施されました。

◆ソンラ省とは

ソンラ省はベトナムの北西部に位置しており、ラオスと国境を接しています。標高が高く牧草地もあることから、畜産が盛んに行われており、牛乳やヨーグルトなどの乳製品の生産が有名です。また、今年4月には、世界最長のガラス張り歩行者専用橋としてギネス認定された「バクロン橋（632m）」が開通し、観光地としても注目されています。今回、桜が植樹されたことで数年後には花見の名所としても観光名所となることが期待されます。



首都ハノイから北西へ約300kmに位置



世界最長のガラス張り歩行者専用橋「バクロン橋」



植樹式の様子

◆桜の植樹式について

今回の植樹式は、ソンラ省のトップである人民委員長など約200名の現地関係者から歓迎を受け、ソンラ省の少数民族であるタイ族の伝統的な歌謡や舞踊が披露されるなど盛大に催されました。2023年には日本とベトナムの国交樹立50周年を迎えます。今回贈呈された1,000本の桜がベトナムの地に根付き、ベトナムと日本の友好の象徴となることを切に願います。

（ベトナム・ハノイ駐在 天野 翔平）

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。